

## 第 23 期 滋賀県スポーツ推進審議会委員名簿

※委員は五十音順（敬称略）

委員氏名	現職等	備考
おおた ちえこ 太田 千恵子	滋賀県障害者スポーツ協会 理事	
おおにし たもつ 大西 保	滋賀県中学校体育連盟 会長	
こすぎ ひでゆき 小杉 秀行	公募委員（東近江市スポーツ推進委員）	
こにし おさむ 小西 理	近江八幡市 市長	
こんどう たかよ 近藤 高代	近江高等学校 教諭	
ごとう けいいち 後藤 敬一	滋賀ダイハツ販売株式会社 会長	
たけだ さとこ 武田 哲子	びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部 准教授	
たなか ゆかり 田中 ゆかり	米原市立坂田小学校 教諭	
ながはま あきこ 永浜 明子	立命館大学スポーツ健康科学部 准教授	
はしづめ けんじ 橋爪 建治	（公財）滋賀県スポーツ協会 常務理事	
はしもと たかこ 橋本 孝子	きのもとアイズ 理事	
みちまた たかひろ 道又 隆弘	京都新聞滋賀本社 編集部長	
やまおか あやか 山岡 彩加	公募委員（医療法人貴島会 貴島病院本院勤務）	
やまわき ひでのぶ 山脇 秀錬	オーパルオペテックス（株） 代表取締役	
よこやま かつひこ 横山 勝彦	同志社大学スポーツ健康科学部 教授	



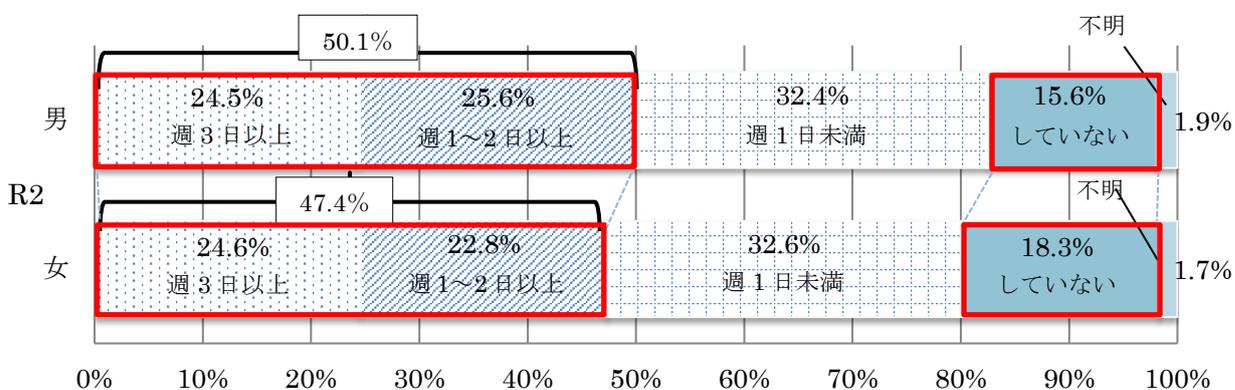
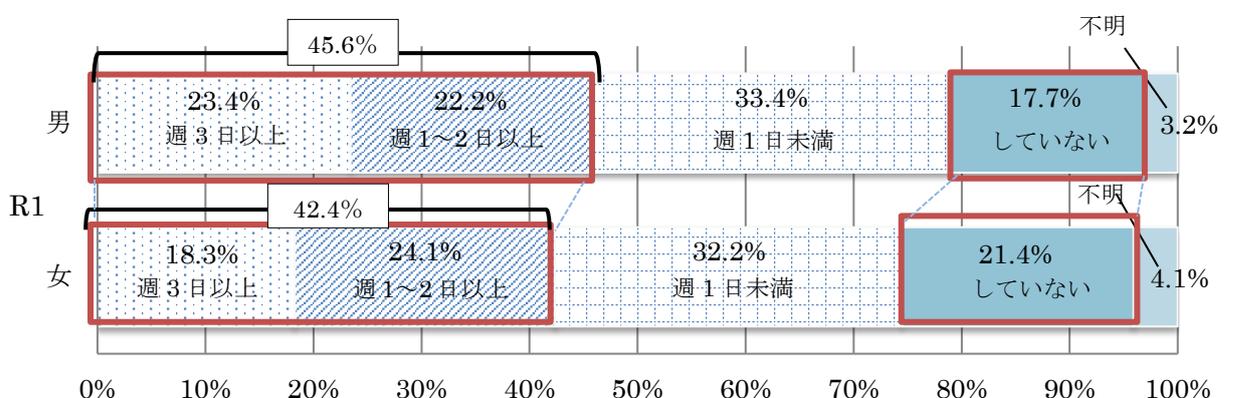
## (2) 年代別の状況

「週に1日以上運動やスポーツを行っている」と回答した人を年代別で前年度と比較すると、70歳以上を除く各年代で実施率が上昇している。また、前年度と同様に20歳代～50歳代は県の平均を下回っている。

	(18-)20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
R1	42.8%	37.8%	37.3%	38.7%	50.6%	69.8%	44.1%
R2	43.4%	40.4%	45.8%	45.2%	59.4%	69.3%	48.7%
差	+0.6	+2.6	+8.5	+6.5	+8.8	△0.5	+4.6

## (3) 性別の状況

「週に1日以上運動やスポーツを行っている」と回答した人を性別で見ると、前年度と同様に男性より女性の方が低いが、前年度より差は縮まっている。また、「運動やスポーツはしていない」と回答した割合も前年度と同様に男性より女性の方が高いが、前年度より差が縮まっている。



#### (4) 運動・スポーツの種類

1年間で行った運動・スポーツをみると「ウォーキング」が最も多く(59.0%)、次いで「トレーニング」(22.7%)、「体操」(20.1%)の順となっており、概ね前年度と同様の傾向である。

	R1		R2	
1位	ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなど)	62.6%	ウォーキング (散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き・犬の散歩など)	59.0%
2位	トレーニング (筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシン)・室内運動器具を使ってする運動等)	12.9%	トレーニング (動画によるトレーニング・筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシン)・室内運動器具を使ってする運動等)	22.7%
3位	体操 (ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	11.9%	体操 (動画による体操・ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	20.1%

#### (5) 運動・スポーツを行う場所

運動・スポーツを行っている場所については、「自宅の周辺(公園、道路など)」が最も多く(61.8%)、次いで「自宅内」(35.5%)、「区市町の公共施設」(19.0%)となっており、身近な場所で運動・スポーツに取り組む傾向がある。

	R1		R2	
1位	自宅の周辺 (公園、道路など)	66.7%	自宅の周辺 (公園、道路など)	61.8%
2位	自宅内	21.7%	自宅内	35.5%
3位	区市町の公共施設	19.0%	区市町の公共施設	19.0%

#### (6) 運動・スポーツに取り組めていない人の理由

「スポーツはしていない」と回答した人の理由については、「機会がないから」が最も多く(43.1%)、次いで「したいと思わないから」(31.9%)となっている。前年度3位の理由であった「お金がかかるから」は5位となり、代わりに前年度4位の理由であった「仕事(育児・介護を含む)が忙しくて時間がないから」が3位になっている。

	R1		R2	
1位	機会がないから	41.5%	機会がないから	43.1%
2位	したいと思わないから	38.1%	したいと思わないから	31.9%
3位	お金がかかるから	23.5%	仕事(育児・介護を含む)が忙しくて時間がないから	25.0%

## 5 今後の方向性

- ・本県の成人の週1日以上<sup>1</sup>の運動・スポーツ実施率は、国の実施率（53.6%）よりも低位であることから、更に実施率向上につながる取り組みを行うことは大きな課題であると認識している。調査結果の傾向等を踏まえ、以下の点に着目して事業を進める。

（年代・性別）

実施率の低い30歳代～50歳代の働き盛りの世代や女性を対象を絞った事業の実施

（種類・場所）

ウォーキングなど比較的運動負荷の低い運動・スポーツに取り組むことを進める事業の実施

（理由・動機）

事業を実施するにあたっては、健康の保持・増進などのスポーツに取り組むメリットやスポーツの魅力を併せて発信

- ・昨年度実施した「運動・スポーツ習慣化促進事業」では、働き盛り世代や女性を対象に、商業施設等で体組成の測定結果を踏まえたセミナーを開催した。参加者アンケートによると、「運動・スポーツは健康や体力づくりに有効だと思ふ」と回答した人は88%となっており、運動・スポーツと健康を結び付けた取組が重要であることが伺える。このことから更に健康医療福祉部との連携を強めた取組を実施する。

（参考）成人の週1日以上<sup>1</sup>の運動・スポーツ実施率（国との比較）

	H28	H29	H30	R1	R2	R4 年目標
全国	42.5%	51.5%	55.1%	53.6%	(集計中)	65%
滋賀県	36.0%		39.9%	44.1%	48.7%	65%
差	△6.5	—	△15.2	△9.5		—

（出典）国：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（H28、29、30、R1）

県：「県民のスポーツライフにかかわるスポーツ実施状況調査」（H28）

「滋賀県スポーツ実施状況調査」（H30、R1、R2）

## 第2期滋賀県スポーツ推進計画 指標の達成状況（令和元年度）

評価	項目数	指標の内容	令和元年度 の状況	目標 令和元年度※1	達成率 (%) ※2
A 年次目標 達成	6	①成人の週1回以上のスポーツ実施率(男)	45.6%	44%	—
		②しがスポーツ大使の就任数	38者	(50者以上)	50.0
		③アスリートを採用した県内企業数	39社	(45社以上)	53.8
		④スポーツボランティア登録者数 (本県ボランティア登録システム利用)	3,379人	1,500人	—
		⑤スポーツ・レクリエーションを目的とする観光 入込客数(暦年)	1,105万人	(1,200万人 以上)	52.0
		⑥オリンピック・パラリンピックのホストタウンを 通じて海外との交流を始めた市町数	5市	(6市町以上)	66.7
B 年次目標 未達成	9	⑦成人の週1回以上のスポーツ実施率(女)	42.4%	44%	—
		⑧子どもの1週間の運動・スポーツ実施時間 (土日を含み、平日授業を除く) 【小学5年生】(男)	558.8分	(625分)	0
		⑨子どもの1週間の運動・スポーツ実施時間 (土日を含み、平日授業を除く) 【小学5年生】(女)	330.2分	(382分)	0
		⑩総合型地域スポーツクラブで指導する有資 格スポーツ指導者数	280人	(370人以上)	12.6
		⑪県内の公共スポーツ施設の利用者数	5,699,024人	(7,300,000 人以上)	0
		⑫民間団体等の実施するスポーツイベントへ の県の後援件数	128件	(200件以上)	0
		⑬滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム 等のホームゲーム観客数	73,262人	(100,000人 以上)	31.7
		⑭国体総合順位	30位	(8位以内)	29.0
		⑮県障害者スポーツ大会の参加者数	708人	(1,000人以 上)	0
N 未集計	1	⑯障害者の週1回以上のスポーツ実施率	—	(65%以上)	—

※1 滋賀県基本構想実施計画に位置付けがある場合は、当計画の年次目標数値を記載。当計画の位置付けがない場合は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で定める令和4年度目標数値を( )で記載。

※2 滋賀県基本構想実施計画の位置付けがない指標の達成率算定方法 (実績－基準)/(目標－基準)×100  
達成率がマイナスとなったものは「0%」、100を超えたものは「100%」としている。

**滋賀県基本構想実施計画の位置付けがない指標の評価については、達成率40%以上のものを達成(A)、40%未満のものを未達成(B)としている。**

## ポスト・コロナ時代に向けた滋賀県のスポーツ振興について

### 1. 新型コロナウイルス感染症にかかる状況

#### 当面11月末までのイベント開催制限の考え方について(概要)

- 必要な感染防止策が担保される場合(3ページ「収容率および人数上限の緩和を適用する場合の条件について」)には緩和することとし、当面11月末まで、以下の収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度とする。それ以外の場合は、従来の目安を原則とする。
    - ① 収容率要件については、感染リスクの少ないイベント(クラシック音楽コンサート等)については100%以内(※)に緩和する。その他のイベント(ロックコンサート、スポーツイベント等)については50%以内(※)とする。
    - ② 人数上限については、収容人数が10,000人以下の場合は5,000人まで、10,000人を超える場合は収容人数の50%までを可とする。
  - 全国的な移動を伴うイベントや参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定されている場合は、滋賀県新型コロナ対策相談コールセンターへ相談すること。
- (※)異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ(5人以内に限る。)内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。
- <基本的な考え方> (収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度(両方の条件を満たす必要)とする。)

時期	収容率の目安		人数上限の目安
当面 11月末 まで	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ・クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等	大声での歓声・声援等が想定されるもの ・ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント	①収容人数10,000人超 ⇒収容人数の50% ②収容人数10,000人以下 ⇒5,000人
	100%以内 [席がない場合は適切な間隔 (最低限人と人が接触しない程度の間隔)]	50%以内(※) [席がない場合は十分な間隔(1m)]	

### 2. 主なスポーツイベント等の状況

	中止	延期	縮小・変更	備考
県内 規模	滋賀県民総スポーツの祭典			8月末までの大会は中止もしくは9月以降に延期
	朝日レガッタ			
	BIWAKO クロカン			
			びわ湖レイクサイドマラソン	オンラインによる開催に変更
全国 規模	全国中学校体育大会			各種目において代替試合等の実施
	春季高等学校総合体育大会			各種目において代替試合等の実施
		国民体育大会		本県開催は2025年に延期
		全国障害者スポーツ大会		本県開催は2025年に延期
			各種プロスポーツ	無観客・人数制限等により実施
国際 規模		東京2020オリンピック・パラリンピック(事前合宿)		1年延期
		東京2020オリンピック聖火リレー		1年延期
		ワールドマスターズゲームズ2021 関西		1年延期

<関連するスポーツ推進計画の指標>

※運動・スポーツの機会の喪失 (①⑦運動・スポーツ実施率)

※スポーツボランティアの機会の喪失 (④スポーツボランティア登録者数)

※国体総合順位、県障害者スポーツ大会の参加者数への影響 (⑭⑮)

### 3. 県内スポーツ施設の対応

期 間	対 応	対象施設
令和 2 年 2 月 28 日～4 月 10 日	施設の一部休止	長浜バイオドーム トレーニング室 栗東体育館 トレーニング室 スポーツ会館 トレーニング室 アイスアリーナ アイススケート場
4 月 11 日～5 月 17 日	全施設休館	
5 月 18 日～5 月 31 日	屋外施設について開館	長浜バイオドーム(テニスコート、グラウンド) 彦根総合運動場野球場 琵琶湖漕艇場 ライフル射撃場 柳が崎ヨットハーバー
6 月 1 日～	全施設開館	

＜関連するスポーツ推進計画の指標＞

※県内の公共スポーツ施設の利用者数の減少 (⑩)

※運動・スポーツの機会の喪失 (①⑦)運動・スポーツ実施率)

### 4. 支援および取組

○オンラインによる動画の配信等

・運動機会の創出



自宅でできるトレーニング講座



自宅でできる運動遊び (PIC)



運動遊び体験プログラムの開催 (ACP, PIC)

・機運醸成



プロスポーツチームによる応援メッセージ



聖火リレー県内ルート動画

○県内スポーツ活動再開支援事業

プロスポーツチームをはじめとする県内スポーツ団体等に対し、新型コロナウイルス感染症防止対策に対して支援を行う。

チーム名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
滋賀レイクスターズ (バスケットボール)	2019シーズン							2020シーズン					
	無観客開催	※開催中止						有観客(1/5)	有観客(1/2)での開催				
東レアローズ (バレーボール)								2020シーズン					
								有観客(1/2)での開催					
MIOびわこ滋賀 (サッカー)	※3月から7月へ開幕延期						2020シーズン						
								無観客での開催	有観客(1/2)での開催				
オセアン滋賀ブックス (野球)		※4月から6月へ開幕延期			2020シーズン								
								無観客での開催	有観客(1/2)での開催				

<関連するスポーツ推進計画の指標>

- ※滋賀県内を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数の減少 (⑬)
- ※スポーツボランティアの機会の喪失 (④スポーツボランティア登録者数)

○令和2年度運動・スポーツ習慣化促進事業

運動・スポーツ実施率の低いビジネスパーソンや女性を対象に、気軽に運動に取り組むきっかけや習慣化につながる取組を実施する。

- ・商業施設内で健康フェアの開催 (健康測定、ウォーキング講座の開催等)
- ・自転車通勤体験
- ・滋賀観光ウォーキングツアーの開催
- ・オンライン運動教室の開催

<関連するスポーツ推進計画の指標>

- ※運動・スポーツ実施率の向上 (①⑦)



## 資料提供

提供年月日：令和2年(2020年)11月5日  
 部局名：文化スポーツ部  
 所属名：スポーツ課 交流推進室  
 びわ湖ロードレース実行委員会事務局  
 担当者名：平山、小山  
 内線：3366  
 電話：077-528-3366  
 E-mail：[sports\\_epo@pref.shiga.lg.jp](mailto:sports_epo@pref.shiga.lg.jp)

# 第12回びわ湖レイクサイドマラソン 2021 —ONLINE— 開催！！

**開催期間／令和3年2月14日(日)～2月27日(土)**

琵琶湖の豊かな自然景観と湖岸のコースを舞台に2010年から「びわ湖レイクサイドマラソン」を開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインマラソンとして開催します！！

なお、「みんなでつくる滋賀県おすすめランニングマップ Twitter キャンペーン」を併せて開催します。詳細は以下のとおりです。

## オンラインマラソン

- ・スマートフォンなどのランニングアプリやランニングウォッチなどのGPS機能を使って、走行距離やタイムを計ることで、完走や順位を決める形式の大会。
- ・走るコース・時間・回数・ペースなど大会開催期間中であれば参加者に合わせて選択することができ、全国どこからでも気軽に参加できます。

## 記

大会名称	第12回びわ湖レイクサイドマラソン2021—ONLINE—			
開催期間	令和3年2月14日(日)～2月27日(土)			
種目	ハーフ：21.0975km(開催期間内であれば回数を分けて走行可能)			
定員	2,000名			
申込方法	インターネット「ランネット( <a href="https://runnet.jp/">https://runnet.jp/</a> )」による申込み ※令和2年11月15日(日)より大会情報が掲載されます。			
申込期間	令和2年11月15日(日)～令和3年1月31日(日)			
参加料	<table> <tr> <td>・近江米コース：1,000円</td> <td rowspan="2">} (別途エントリー手数料220円が必要です)</td> </tr> <tr> <td>・びわ湖満喫コース：3,000円</td> </tr> </table>	・近江米コース：1,000円	} (別途エントリー手数料220円が必要です)	・びわ湖満喫コース：3,000円
・近江米コース：1,000円	} (別途エントリー手数料220円が必要です)			
・びわ湖満喫コース：3,000円				
内容	詳細については、別紙開催要項のとおり			
ホームページ	<a href="https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bunakasports/sports/314882.html">https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bunakasports/sports/314882.html</a>			

第12回びわ湖レイクサイドマラソンで検索



【同時開催企画】みんなでつくる滋賀県おすすめランニングマップ Twitter キャンペーン

期間：令和2年11月15日(日)～12月31日(木)

- ・県内外を問わずランナーの方々が日頃練習されているコースや、地元のおすすめコースなどをTwitterのキャンペーンとして募集します。集まったコースの中から県内のコースを参考にしたランニングマップを作成します。
- ・参加方法はびわ湖レイクサイドマラソンの公式Twitterアカウント(@biwakolake\_m)をご覧ください。  
※応募していただいた方の中から抽選で50名の方に近江牛や滋賀の地酒などをプレゼント！